

12 月 27 日：VN 指数は上値が重たい展開 (VN-Index -0.02%)

- VN 指数は昨日に引き続き好調に取引を開始。ATO セッション終了後も一段と上げ幅を拡大させた。
- しかし、1,126pt 付近まで到達すると売り方の勢いが強まり、指数は徐々に下落していった。なお、前引けはわずかながらもプラスを維持した。
- 後場には開始とともに売買注文が殺到。買い方が優勢になり上昇幅に回復の動きが見られた。しかし、前場同様の動きが再び見られ、同じく 1,126pt 付近で頭打ちとなり、200 日移動平均線が天井として意識された。
- セクター別ではヘルスケアが最も上昇し、メディアや通信セクターが下落した。
- 219 銘柄が上昇、250 銘柄が下落、111 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は昨日から大きく回復し、前日比 31%増の 19.3 兆ドンとなった。

VN30 指数はわずかにプラスを維持 (VN-30 +0.04%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、13 銘柄が上昇、13 銘柄が下落、4 銘柄が横ばいとなった。
- 上昇が目立った銘柄は、TPB (+2.06%) と MSN (+1.21%) だった。
- 一方、際立った下落銘柄は見受けられなかったものの、強いて言えば SAB (-0.96) や POW (-0.89%) などが指数の足を引っ張った。

セクター・個別株の動き

- HNG (+7.00%) は本日、ストップ高を記録した。同社は昨日、ラオスに子会社 (Southern Laos Agriculture Production and Investment Company Limited) を設立することを発表した。資本金は 4 億ドル相当と見込まれ、事業規模の拡大が投資家から好感され、大きく買われた。

- VPB (0.00%)はこのほど、日本の三井住友銀行と 2500 万米ドル相当の二国間融資契約を締結した。同社にとって初となる外資による資金調達であり、資本基盤の強化や事業活動の更なる拡大のために用いられるという。
- 外国人投資家は 1110 億ドンの買い越しと、今月に入ってから初の買い越しとなった。主に HCM (+1.98%)が買い越された一方、VNM (0.00%)などが売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。